

令和2年8月26日

市政記者各位

福岡市美術館

コレクション展示室 秋季展示がスタートします

世界から注目されながらも、一貫して九州・福岡に拠点を置いて創作活動を行ってきた菊畑茂久馬や重要文化財の尾形乾山筆《花籠図》を紹介する展覧会を開催します。

福岡市美術館コレクション展示室の秋季展示といたしまして、2階近現代美術室では、福岡を拠点に活動した画家で、今年5月に逝去した菊畑茂久馬の作品を紹介する展覧会を開催。また、1階古美術展示室では、重要文化財の尾形乾山筆《花籠図》を紹介する「秋の名品展」に加え、アジア各地の古美術（絵画、彫刻、工芸）に描かれ、造形された動物たちを紹介する展覧会「アンティークどうぶつ園」が新たにスタートします。つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願い致します。

コレクション展・近現代美術

菊畑茂久馬：「絵画」の世界

本年5月に惜しくも他界された福岡在住の画家・菊畑茂久馬（1935-2020）は、常にメジャーな美術動向からは距離を置き、戦争画や山本作兵衛作品に関する研究を通して独自の作品世界を模索。荒々しい物質感の中に叙情性を漂わせる「絵画」は常に注目を集めてきました。彼の画業を、「絵画」を中心に振り返ります。



菊畑茂久馬《舟歌 一》1993年（加筆1997, 2002）

会期	令和2年9月1日（火）～令和2年10月25日（日）
会場	福岡市美術館2階 コレクション展示室 近現代美術室B

コレクション展・近現代美術

抽象と具象のあいだ-甲斐巳八郎を中心に

「具象画」とは物の形を写した絵、「抽象画」とは純粋な色や形で作られた絵…果たして本当にそうでしょうか？
2019年度に新収蔵した甲斐巳八郎（1903-1979）の日本画を中心に、具象と抽象を行き来する作品を紹介します。



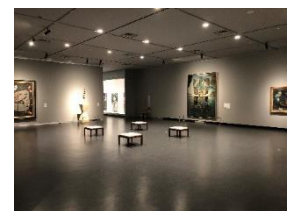
甲斐巳八郎《題不詳（クチイ）》1970年代

会期	令和2年9月1日（火）～令和2年10月25日（日）
会場	福岡市美術館2階 コレクション展示室 近現代美術室A

開催中のコレクション展

コレクションハイライト

ダリ、ウォーホル、草間彌生といった、20世紀の美術史を彩った作家たちの代表作に加え、新収蔵されたインカ・ショニバレ CBE 《桜を放つ女性》をまとめて展示。
福岡市美術館といえば、これ!という充実の所蔵品でモダンアートの100年をたどります。



近現代美術室Aの展示風景

コレクション展・古美術

秋の名品展

松永耳庵が秋に開く茶事の定番として用いた尾形乾山筆《花籠図》（重要文化財）や《柿蒂茶碗 銘白雨》をはじめ、秋の情趣に相応しい作品を精選して展示します。

会期	令和2年9月1日（火）～令和2年11月15日（日）
会場	福岡市美術館1階 コレクション展示室 松永記念館室



尾形乾山《花籠図》（重要文化財）江戸時代 18世紀

コレクション展・古美術

アンティークどうぶつ園

アジア各地の古美術（絵画、彫刻、工芸）に描かれ、造形された動物たちが大集合。リアルなカワウソの描写が見どころの狩野探幽筆《獺図》、明治期ならではの超絶技巧による大作《九貢象唐子文屏風》など、見どころ満載のどうぶつ園です。

会期	令和2年9月1日（火）～令和2年11月15日（日）
会場	福岡市美術館1階 コレクション展示室 古美術企画展示室



《コブウシ土偶》パキスタン・紀元前2000年頃

コレクション展・古美術

仙厓展（後期展示）

仙厓義梵（1750-1837）は、日本最初の禅寺、博多聖福寺の住職を務めた禅僧で、ユーモアあふれる書画で人気を博しました。本展では、仙厓の多彩な画業を振り返り人気の秘訣を探ります。

会期	令和2年6月17日（水）～令和2年11月15日（日） ※後期の展示が9月1日（火）よりスタートします。
会場	福岡市美術館1階 コレクション展示室 古美術企画展示室



仙厓義梵《蜆子和尚図》江戸時代 文政3年（1820）

共通

開館時間	午前9時30分～午後5時30分 ※7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館 （入館は閉館の30分前まで）
休館日	毎週月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日
観覧料	一般200円、高大生150円、中学生以下無料

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（近現代美術担当：山口，忠，岩永）
（古美術担当：後藤，宮田，岩永）

問合せ：092-714-6051

